

## 平成30年度 生徒・保護者の学校評価アンケート まとめ

全27項目中、「よくあてはまる」と「ほぼあてはまる」の合計が80%以上という評価を受けたのは、生徒からは20項目であり、昨年度の16項目から4項目増加しました。特に「平戸高校に入学して良かったと思う」に対する肯定的な回答は97.8%という高い評価を得られました。下がった項目は、「常識力トレーニング『拓こう!』にまじめに取り組んでいる」と、「家庭学習は毎日1時間以上行っている」でした。また、保護者の皆様から80%以上の評価をいただいた項目は21項目（昨年度19）あり、「子どもを平戸高校に入学させて良かったと思う」と「先生はわかる授業を工夫している」の2項目については98.9%という高い評価をいただきました。昨年より大きく下がった項目はなく、全体的に昨年度より高い評価をいただきましたことは、教職員一同とてもありがたいと思っております。しかし、学習活動に関する項目についての評価が、生徒・保護者共に低くなっており、特に「家庭学習は毎日1時間以上」については、昨年度と同様、生徒43%、保護者58%という大変低い評価となっています。協同的な学びの実践に取り組む中で、授業で学んだ内容をいかに家庭での学習に結びつけるか、加えて、家庭での過ごし方、特にスマートフォンの使用時間の縮減については、今後も検討して参ります。

昨年度、「学校行事は充実している」の項目は、生徒からは95%の高評価でしたが、今年度も94%という、高い評価となりました。3年生を中心に躍動した体育祭、全クラスで演劇に取り組んだ慈眼祭、県下の学校関係者が多数訪れた授業研究会など、生徒にとっても自己肯定感や達成感を強く感じる機会が多かったと思います。さらに今年度は、生徒会を中心とした生徒主体の動きが活性化し、自分たちの創意工夫でより良い活動を実現しようとする生徒意識の高まりが感じられました。少ない人数、短い準備期間にもかかわらず、計画的に準備し、意欲的に活動に取り組む生徒の姿が数多く見られました。創成館高校や佐賀東高校の演劇鑑賞や、家藤正人先生を迎えての句会ライブなど、外部からの刺激も大きい影響があったと思います。今年度は、多くの行事において、自分達が楽しむだけでなく見ている人達も楽しませるという生徒の気持ちが伝わったかと思います。これらの行事が、生徒中心に成功裏に終了いたしましたことは、生徒達のみならず、職員にとっても大きな自信になりました。今後、クラス数の減少に伴い、行事のスリム化を考慮せねばならない場面も出てきますが、自ら考える生徒が主役となる行事づくりに努めて参ります。生徒数の少ない学校だからこそ実践できる教育活動を検討し、さらに生徒の充足感が増すよう教育活動に取り組んでいく所存です。陰で支えて下さった保護者、PTA、同窓会、そして地域の皆様に改めて感謝申し上げます。

「先生は、生徒の悩みや相談を親身になって対応してくれる」という項目につきましても、生徒・保護者共に、昨年度以上の高い評価をいただきました。今年度はSNSに関するトラブル、いじめにつながるような事案も激減しています。今後も生徒全員が落ち着いて学校生活を送れますよう、生徒一人ひとりに寄り添う『オンリーワン教育』を推進して参ります。

全体的に見ますと「よくあてはまる」の評価がまだまだ低い項目も多くあります。社会に有為な生徒育成のため、今後も「地域に根ざし道を拓く」学校づくりに努めて参りますので、本校の教育活動に対し引き続き、ご理解・ご支援をよろしくお願いいたします。